

















SDGs【持続可能な開発目標】行動計画 取組状況

【令和4年度】

重点目標	取組み	JAの取組み・行動 (重点は太字)	SDGs目標	行動計画				担当部署		
				令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	今後の取組み			
1 地域の「農業」を守り、将来にわたって持続可能な農業を目指します。	持続可能な食料の生産と農業の振興に取り組みます。	直接販売の強化		○販売高3,000万円	○販売高2,000万円	○販売高3,200万円	○令和5年度に向けて新たな品目としてスイートコーン、業務用カボチャの栽培と販売を開始予定（1月26日講習会実施）。また、梨、ダイコンなどの市場以外への販売促進に努めます。お米に関して市内や県外消費者へ販売を行います。	経済部		
		農産物ロスの削減（加工原料の販売）		○梨30 t、イチジク1 t、ダイコン100 t	○梨50 t、イチジク0.5 t、ダイコン20 t	○梨40 t、イチジク1 t、ダイコン150 t	○現状取り扱っている品目以外にも、農産物ロスが発生しないよう販売先や品目の選定を行います。	経済部		
		品目集約の肥料等の提供（生産コストの削減）		○50 t	○57t	○70 t	生産コスト減が望める集約銘柄や混合堆肥複合肥料などを普及し、生産コストの低減に努めます。あわせて化学肥料低減にも寄与します。	経済部		
		主要作付け面積の維持		○水稲2,280ha、ダイコン200ha、梨43ha、イチジク5 ha	水稲2,280ha、ダイコン200ha、梨43ha、イチジク5 ha	水稲2,280ha、ダイコン200ha、梨43ha、イチジク5 ha	○担い手農家への農地の集積や生産が維持できるような販売の強化に努めます。また、農地中間管理機構の活用や各種補助金の申請の検討もを行います。また、組合員を対象に次世代総点検運動を行います。	経済部		
		労働力確保の取組み		○無料職業紹介事業の継続実施 ○梨ボランティア育成事業、酪農ヘルパー事業の継続 ○鉄、パレットコンテナ出荷件数の普及・拡大	○成約5件、紹介10件 ○梨ボランティア育成事業、酪農ヘルパー事業の継続（25人） ○鉄コンテナ2件、パレット6件	○紹介10件 ○梨ボランティア育成事業、酪農ヘルパー事業の継続（25人） ○鉄コンテナ3件、パレット8件	○無料職業紹介事業の継続、一日農業バイトの活用など農家雇用確保に努めます。 ○梨ボランティア事業や酪農ヘルパー事業の継続十実施に努めます。	経済部		
		後継者・新規就農者支援 農業従事者への各種支援		○行政、各部門一体となった新規就農者・後継者への訪問活動 ○各種研修会の実施：2回	○新型コロナウイルスにより計画中止（実施不可）	○スイートコーン・カボチャの講習会（年間2回目標）	○各種品目別講習会の開催を行い、新規就農者や後継者への育成を強化します。年間目標2回	経済部		
		農業リスク診断活動		○300件	○305件	○300件	○リストより3Q訪問活動および確定申告会場等において継続実施。	共済部		
	地域の「食」を守り、環境にも安全・安心な農畜産物を供給します。	環境保全型農業の実践		○有機肥料の普及 ○環境保全型農業の実践、普及：15農家	○環境保全型農業の実践農家15名	○環境保全型農業の実践農家20名	○肥料コストの削減と合わせた堆肥、緑肥の活用を推進します。また、特別栽培「ちばエコ農産物」についても認証の維持に努めます。	経済部		
		土壌診断の実施と拡大		○土壌診断（肥料・農業の適正利用） 300戸	○375件	○400件	○土壌診断による科学性の分析に加え、物理性についても生産農家と協議し、土壌にあった作物の選定を推進します。	経済部		
		食農教育の実践		○学校給食への食材提供：17品目 ○農業体験の提供：1カ所以上 ○小学校向け実践型指導：1校	○学校給食への食材提供：17品目 ○農業体験の提供：2カ所以上 ○小学校向け実践型指導：1校	○学校給食への食材提供：17品目 ○農業体験の提供：3カ所以上 ○小学校向け実践型指導：1校	○学校給食へ供給できる品目について市原市と協議し、生産者へ情報提供と作付け提案を行います。 ○食育活動を継続し、市内消費者へ市内産農産物をPRします。	経済部		
		消費者へ安全・安心な農産物の提供と情報発信		○残留農薬検査：15品目 ○GAP、HACCPの実践	○残留農薬検査：15品目 ○GAP、HACCPの実践	○残留農薬検査：15品目 ○GAP、HACCPの実践	○主要農産物の残留農薬検査を継続実施します。また、直売所や精米所でのHACCPに基づく衛生管理を実施します。GAPについても認証の維持と取得農家の増加に努めます。	経済部		
		2 総合事業の強みを発揮し、地域の「暮らし」を守ります。	安心して暮らせる持続可能で豊かな地域社会づくりに貢献していきます。	総合事業によるインフラ機能提供（金融・共済・生活店舗・直売所・GS・葬祭）		【信用】 ○再生エネルギー購入支援：5件 ○住宅ローン：実行金額45億円、農業融資：実行額1.5億円 【共済】 ○3Q訪問活動：組合員世帯の80%	【信用】 ○再生エネルギー関連については実績なし。 ○住宅ローン：実行額54億円、農業融資5千8百万円 【共済】 ○3Q訪問活動：組合員世帯の80%・13,131戸（85.36%）	【信用】 ○再生エネルギー購入支援継続。 ○住宅ローン：実行額40億円、農業融資2億円 【共済】 ○3Q訪問活動：利用者数の80%	【信用】 ○再生エネルギー購入時低利ローン提供 ○住宅業者営業の継続、強化。担い手、大口農家への訪問活動継続、法人へのアプローチ。 【共済】 ○継続的な3Q訪問活動の実施。	金融部 共済部
				組合員の健康増進活動		○受診者：300人	○受診者：275人	○受診者：300人	○健康診断の受診者数が増加するよう、組合員に周知します。	経済部
			「対話」に基づく「食と農、地域」を守るJA経営の強化	女性組織の活動支援、若手加入促進		○農家レストランの支援：年2回 ○若手加入促進運動：1組織	○農家レストランの支援：年2回 ○若手加入促進運動：1組織新規入者5人	○農家レストランの支援：年2回 ○若手加入促進運動：1組織新規入者7人	○農家レストランの秋季営業に向けた支援を行います。また、若手加入促進運動を行います。	経済部
准組合員の意見反映				○准組合員の意見反映を図るため、意見集約レポートの整備と参画機会づくりの検討・実施	○准組合員向け広報誌を創刊（年2回）。DM方式と併用した配布訪問の実施（2,929件）	○准組合員向け広報誌の発行・戸別配布の継続（目標：3,000件） ○モニター制度の新規導入（4月目標）	○意見集約レポートの複数化（モニター制、Webメール、広報誌での意見募集等）を図り、正・准組合員が一体となった組織運営をめざします。	経営企画部		
対話に基づく情報提供・組織運営		○組合員・担い手への役員訪問活動：200人	○担い手への役員訪問実績：87人 ○事業活動を通じた訪問活動：21,477件（複数回訪問を含む）	○担い手への役員訪問：100人 ○事業活動を通じた訪問活動：22,000件（複数回訪問を含む）	○直接対面を継続するとともに、非対面手法（E mail、郵送等）の活用・充実を図ります。	経営企画部				
女性管理職の登用促進		○女性管理職比率30%（令和6年度目標値）	○女性管理職割合 27.3%（21人）< 総管理職数77人（12月31日現在）>	○女性管理職3名増加をめざす。女性管理職割合目標：31%（女性管理職24人）	○男女間格差がない管理職登用基準を定めていることから、女性管理職登用を促しています。今後は資格認証試験の受検奨励を通じ、管理職候補者の量的増加をすすめます。	総務部				